

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成24年 8月10日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市南区東九条東山王町12		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 京都市上下水道局 公営企業管理者上下水道局長 水田 雅博
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	京都市役所オリジナル環境マネジメントシステム (KYOMS)	
適 用 範 囲	京都市上下水道局本庁舎	
導 入 年 月 日	平成21年 9月 1日	
認 証 番 号		
基 本 方 針	<ol style="list-style-type: none"> ① 京の環境共生推進計画に掲げる環境の保全及び創造に関する施策や取組を積極的に推進する。 ② 本市が行う事務事業活動における環境負荷の低減を図るため、環境目的及び目標を設定し、環境マネジメントシステムの定期的な見直しを行い、継続的な改善に取り組む。 ③ 環境関連法令、規則、協定を遵守する。 ④ 職員が環境方針を理解することにとどまらず、環境に配慮した目に「見える」行動に取り組むよう教育・訓練・研修を実施する。 ⑤ 環境方針は、職員に周知徹底を図るとともに、市民に公表する。 	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ol style="list-style-type: none"> ① コピー用紙消費量削減（平成22年度比1%削減） ② 環境対応品購入 （消耗品 購入率85%以上、備品 購入率95%以上） ③ 省エネルギー及び省資源の推進（平成22年度比2%削減） ④ 廃棄物の発生抑制、減量化及びリサイクルの推進 （平成22年度比1%削減） 	
目標を達成するための取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> ① コピー用紙の消費量の削減を図り、省資源の取組を推進する。 ② 物品の調達に当たって、環境に配慮した製品を優先的に調達する。 ③ 電気、ガス、水道及びガソリン等のエネルギー使用量の削減を図る。 ④ 適正な廃棄物の処理と資源物のリサイクルを推進し廃棄物の減量及び環境への付加の低減を図る。 	
目標を達成するための取組の進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> ① コピー用紙の両面利用、文章の電子化（実施済） ② 物品の調達に当たって、グリーン購入法を基準とし、環境対応品を優先的に調達する。（実施済） ③ 電気 室内温度の適正化、外気の循環による冷暖房の効率化（実施済） 都市ガス 湯沸し器の種火の使用時ごとの点火、消火の徹底（実施済） ガソリン 公共機関を活用し公用車の使用を控える（実施済） ④ ゼロ・エミッション実践活動の徹底（実施済） 	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>一定の成果をあげているが、ガソリン及び都市ガスの使用量、一般廃棄物の削減については、目標を達成することが出来なかった。</p>	
事業活動に係る法令の遵守の状況	<p>年1回、環境関連法規制調査票により確認及び報告を行っている。これまで違反及び指摘は無かった。</p>	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>評価・見直しの必要性については、原則として1年に1回検討している。23年度の同一のシステムを運用し、目標を達成したい。</p>	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。